

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年12月末現在
男 15,605人
女 15,493人
総人口 31,098人
世帯数 13,382世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.126 スイカズラ
(マツムシソウ目 スイカズラ科)
学名 *Lonicera japonica* Thunb.

写真・文 安昌美

スイカズラとは、山野に生える木質の蔓草で、枝葉は対生し、葉は卵形から楕円形、縁に鋸歯がある。花は5〜7月に開花し、白色から黄色に変化する。果実は冬に熟し、黒くならず、甘い。葉には芳香があり、観賞用として栽培される。比較的大きな花のため、庭先や公園などに植えられている。スイカズラは、比較的よく繁殖し、山野に生えることが多い。葉は対生し、葉は卵形から楕円形、縁に鋸歯がある。花は5〜7月に開花し、白色から黄色に変化する。果実は冬に熟し、黒くならず、甘い。葉には芳香があり、観賞用として栽培される。比較的大きな花のため、庭先や公園などに植えられている。スイカズラは、比較的よく繁殖し、山野に生えることが多い。

スイカズラという名前(吸い蔓)は、花にある蜜を吸うときの唇の形に似ていることによる。別名「忍冬」に由来しており、薬学関係ではこちらが使用されている。植物学では、784年に医師・植物学者のツネバクが記した『本草綱目』が最初である。『植物誌』が最初である。ツネバクは、スウェーデンに生まれ、ウプサラ大学で植物学を学びました。オランダ東インド会社

社に医者として勤務し、江戸時代には鎖国中でもあつた。師として赴任し、付いたのは、高弟(高弟)あつた。彼は、喜望峰(喜望峰)の研究したとされ、1775年8月に長崎に着き、翌年7月に10月に戻つて、マテルダムに居た。自由に出歩かなくなったため、毎朝運ばれてくる飼料用の植物をばらけ、飼料を作製したことが記録されている。江府参府を利用し、長崎以外の植物も見ています。彼の著書『フロラ・ヤポニカ』に『フロラ・ヤポニカ』に報告されたもの。高弟：弟子の中でも特に優れたもの。

ちびっ子アート さくらこども園



「冬の家」
せきみず ゆうすけ (6歳)



「冬の家」
おぬま すず (6歳)